

公立高校入試情報 山形県

【数学】

令和6年度山形県入試の全体傾向

- 大問は4問、小問数は24問で、分量に大きな変化はない。
- 大問1～2は昨年と同じく、解き方も書く2次方程式の問題が出題された。
- 例年大問2で出題されている活用を意識した問題は、今年はデータの分析で、累積相対度数を使って説明する問題であった。大問3は、動点と関数の利用、大問4は、合同の証明を含む三平方の定理を使う問題が出た。
- 例年通り作図問題（平面図形、グラフ）や記述問題（計算過程、図形の証明）が多く、対策の必要がある。まず基本事項を正確におさえて、十分に練習しよう。

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

■ 関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

★山形県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式				
		方程式	●	●	●	●
		比例と反比例	●	●	●	●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●		●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●		●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●	●	
		三角形				●
		平行四辺形	●			
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図			●	
	3年内容	式の計算		●	●	
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査				
出題形式別の傾向	大問数		4	4	4	4
	小問数		24	23	23	24
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	1	1	1
		立式・解法の過程の記述	2	1	2	2
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)	1	1	1	1